

令和3年第1回(3月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

表 題	令和3年第1回(3月)定例会 一般質問通告書について																																																											
内 容	<p>3月15日(月)から行われる、令和3年第1回(3月)定例会における一般質問について、26人の議員から通告書の提出がありました。</p> <p>各日の質問予定者氏名、順番、内容は以下のとおりです。</p> <p>なお、各日の質問予定者は、変更になる場合があります。</p> <p>●各日の質問予定者</p> <table border="1" data-bbox="381 595 1083 1924"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>順番</th> <th>氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">3月15日 (月)</td> <td>1</td> <td>滝沢 一成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>杉田 勝典</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>牧田 正樹</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>池田 尚江</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>こんどう 彰治</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>橋本 洋一</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">3月16日 (火)</td> <td>7</td> <td>石田 裕一</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>小山 ようこ</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>宮崎 朋子</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>高橋 浩輔</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>中土井 かおる</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>ストラットン 恵美子</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>丸山 章</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">3月17日 (水)</td> <td>14</td> <td>上野 公悦</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>本山 正人</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>江口 修一</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>高山 ゆう子</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>田中 聡</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>渡邊 隆</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>橋爪 法一</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">3月18日 (木)</td> <td>21</td> <td>山田 忠晴</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>栗田 英明</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>平良木 哲也</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>安田 佳世</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>小林 和孝</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>宮越 馨</td> </tr> </tbody> </table>	日	順番	氏名	3月15日 (月)	1	滝沢 一成	2	杉田 勝典	3	牧田 正樹	4	池田 尚江	5	こんどう 彰治	6	橋本 洋一	3月16日 (火)	7	石田 裕一	8	小山 ようこ	9	宮崎 朋子	10	高橋 浩輔	11	中土井 かおる	12	ストラットン 恵美子	13	丸山 章	3月17日 (水)	14	上野 公悦	15	本山 正人	16	江口 修一	17	高山 ゆう子	18	田中 聡	19	渡邊 隆	20	橋爪 法一	3月18日 (木)	21	山田 忠晴	22	栗田 英明	23	平良木 哲也	24	安田 佳世	25	小林 和孝	26	宮越 馨
日	順番	氏名																																																										
3月15日 (月)	1	滝沢 一成																																																										
	2	杉田 勝典																																																										
	3	牧田 正樹																																																										
	4	池田 尚江																																																										
	5	こんどう 彰治																																																										
	6	橋本 洋一																																																										
3月16日 (火)	7	石田 裕一																																																										
	8	小山 ようこ																																																										
	9	宮崎 朋子																																																										
	10	高橋 浩輔																																																										
	11	中土井 かおる																																																										
	12	ストラットン 恵美子																																																										
	13	丸山 章																																																										
3月17日 (水)	14	上野 公悦																																																										
	15	本山 正人																																																										
	16	江口 修一																																																										
	17	高山 ゆう子																																																										
	18	田中 聡																																																										
	19	渡邊 隆																																																										
	20	橋爪 法一																																																										
3月18日 (木)	21	山田 忠晴																																																										
	22	栗田 英明																																																										
	23	平良木 哲也																																																										
	24	安田 佳世																																																										
	25	小林 和孝																																																										
	26	宮越 馨																																																										

順位	
議席氏名	質問事項
1	1. 豪雪災害について
21 番 滝 沢 一 成	<p>(1) 今冬1月7日からの豪雪災害対策、一斉雪下ろし対策等において、以下の点で課題はなかったか。また、あるとすれば、その原因は何か、どう対処、解決するのか。</p> <p>ア 除排雪に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ①除排雪道路の優先順位 ②生活道路の除排雪 ③機械除雪の効率性あるいは限界性 ④歩道除雪 ⑤付随して、豪雪地としての歩道の在り方 ⑥消雪パイプ、流雪溝 ⑦自助・共助を図る町内会との連携及び支援 <p>イ 除排雪委託事業者との連携に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ①除排雪委託事業者との連携系統 ②除排雪委託事業者の人員確保・機材確保・燃料確保、その他サポート ③除排雪車稼働不可能基準 <p>ウ 一斉雪下ろしに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ①一斉雪下ろしの判断と実施の時期 ②一斉雪下ろし時の交通規制の運用とその周知 ③いわゆる雁木町家における雪下ろし <p>エ 家屋被害・人身被害の多発について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①雪下ろし時のヘルメット、命綱等の着用 ②屋根上アンカーの設置 ③いわゆるピーター運転技術啓発 ④空き家・特定空き家等における雪下ろし <p>オ 市民等への情報伝達に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ①災害対策本部からの市民への情報提供 ②災害対策本部長からの市民へのメッセージ ③防災ラジオの運用 ④FM J、J C V等の活用 ⑤SNSの活用 ⑥いわゆる情報弱者への対応 ⑦情報伝達手段としての町内会の負担 ⑧災害時の俯瞰的な情報網構築 ⑨市民からの声の受付体制 <p>カ 災害救助法に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ①災害救助法適用の範囲と市民への周知 ②自衛隊派遣要請及び自衛隊への要請範囲 <p>キ 豪雪等自然災害と複合災害に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ①豪雪等自然災害時の消防救急体制

令和3年第1回(3月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

	<p>②豪雪等自然災害時の原子力災害体制</p> <p>(2) トータルとして、この度の豪雪で得た教訓は何か。</p>
順位	質 問 事 項
議席氏名	
2	<p>1. 今冬の大豪雪について</p> <p>(1) この1月、35年ぶりの記録的な大豪雪となった。現時点での大きな課題・問題点は市道等の道路確保と考えるが、短期、中期的な除雪対策や除雪オペレーターの確保などによる除雪体制の維持について、建設業界など含め官民との連携でどう図っていくのか聞きたい。</p> <p>2. 「デジタル市役所化」に向けた取組について</p> <p>(1) 国は、行政手続のオンライン化や、自治体システムの標準化・共通化を目指しているが、当市の見通しをどう捉えているか。</p> <p>(2) 高齢者も含め、多くの市民がITの恩恵を享受できるような取組について、当市の動きはどうか。また、市以外の主体との連携などを検討する考えはあるか。</p> <p>3. コロナ禍に伴う事業者支援策のPRについて</p> <p>(1) 国が第三次補正予算で創設した「事業再構築補助金」は、中小企業の事業転換や新分野開拓を支援するものである。補助対象業種の制限がないことから、商工会議所や商工会と連携し、PRしてはどうか。</p>
順位	質 問 事 項
議席氏名	
3	<p>1. 今冬1月の豪雪について</p> <p>(1) 今般のような豪雪時の市道除雪について、担当地域を超えた支援体制や町内への委託など通常時とは違った対応を検討すべきではないか。また、町内会や地域に市道除雪を委託する場合、除雪機の貸与や購入時の補助制度の拡充、燃料代補助制度の創設を検討すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 高田地区の一斉雪下ろしの時期が遅かったという指摘がある。エリアごとの実施や雪下ろしを優先するなど、早期に実施できる方法の検討が必要ではないか。</p> <p>(3) 市道除雪の状況などについて市民から多くの問合せがあったが、防災行政無線・防災ラジオ・エフエム上越・有線放送・エリアメール等を積極的に活用し、除雪の進捗状況や停電の復旧見込みなど、市民への情報伝達に努めるべきではなかったか。また、防災ラジオを活用しなかった理由を聞きたい。</p> <p>(4) 重機のオペレーターの確保策として、「半農半X(建設業)」の推進など、農業部門との連携をさらに図るべきではないか。</p> <p>(5) 今回の一斉雪下ろしの際、初めて除雪ボランティアを募集し、活動に当たってもらったが、その総括について聞きたい。また、今後、一斉雪下ろし時に除雪を行う(仮称)除雪ボランティア隊の創設が必要と考えるがどうか。</p>
順位	質 問 事 項
議席氏名	
12番	<p>牧田正樹</p>

	<p>2. 柏崎刈羽原子力発電所について</p> <p>(1) 東京電力社員による他人のIDカードによる中央制御室への不正入室をはじめ、多くの不祥事が発覚しているが、市としてどう受け止めているか。</p> <p>(2) 他人のIDカードによる中央制御室への不正入室事案は、関係自治体への報告がなされなかった。このような事案についても、報告を義務付ける条項を安全協定に加えるべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 豪雪時に原発事故が起きた場合に、避難することは困難である。市民の避難についてどのように考えているか。</p> <p>(4) UPZ圏内の自治体は事前了解権を有する安全協定の締結が必要と考えるが、現段階での市の見解を聞きたい。</p> <p>3. 新型コロナウイルスワクチンの接種体制について</p> <p>(1) 当市としてどのような接種体制で臨むのか(ワクチン種類・接種人数・接種場所・スケジュール・周知方法など)。</p> <p>(2) スピード開発の今回のワクチンは、臨床試験を並行しながらの製造となっており、安全性に不安を持つ人もいる。できる限りの市民への情報提供を行うべきと考えるがどうか。また、接種はあくまでも本人同意が必要であり、雇用主などから強制されたり、周囲からの圧力などにより接種を断れない風潮になってはいけないと考える。企業などへの指導や市民への周知を丁寧に行うべきと考えるがどうか。</p>
<p>順位</p>	
<p>議席 氏名</p>	<p>質 問 事 項</p>
<p>4</p>	
<p>16 番 池 田 尚 江</p>	<p>1. 新型コロナウイルス感染症について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症患者への差別や偏見、誹謗中傷への抑止対策をより強化すべきと考えるが、市長の考えを聞きたい。</p> <p>(2) 新型コロナウイルスワクチン接種に伴う副反応について、市民への情報提供と接種会場での急変時の対応をどのように進めていくか聞きたい。</p> <p>2. 山林における地籍調査について</p> <p>(1) 令和6年度から始まる森林環境税と令和元年度に先駆けて交付が始まった森林環境譲与税の制度を機に、森林整備と共に自然林を含めた山林における地籍調査に向け、国の効率的な手法導入推進基本調査を当市に導入する考えがないか、市長の考えを聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
5	<p>1. 今冬の豪雪について</p> <p>(1) 除雪体制の検証結果について、以下のことを聞きたい。</p> <p>ア 苦情がかなりあったと聞いているが、件数はどれくらいか。また、それに対する対処はどのように行われたのか。</p> <p>イ 通学路の除雪は万全を期していると思うが、現状について、以下のことを聞きたい。</p> <p>(ア) 通学路で歩道整備がされていない路線の除雪状況はどうだったのか。</p> <p>(イ) 歩道除雪の出動基準は、市は10cm～15cmとなっているが、県は20cmである。この規定では不都合が生じていると考えるが、市の基準に統一するよう、県に要請する考えはないか。</p> <p>ウ 狭あい道路や生活道路などに係る除雪費の支援は、今後考えなければならぬと考えるが、どうか。</p> <p>エ 災害救助法の適用を受け自衛隊が出動し、11の福祉施設の除雪作業を行ったが、どのように対象施設を選んだのか聞きたい。</p> <p>オ 雪捨て場の開設時間を含めた状況を聞きたい。</p> <p>カ 豪雪時のごみ収集の一時休止などの市民への連絡方法について、防災ラジオの活用はできなかったのか。今後も市民周知について何か検討する考えはないか。</p> <p>キ 豪雪時に原子力災害が発生した場合の避難について、市の考えを聞きたい。</p> <p>(2) 消雪パイプなどの地下水利用による地盤沈下状況はどうだったのか。</p> <p>(3) 今冬の豪雪により、倒壊した雁木も見受けられたが、復旧支援はできないか。また、降雪期の歩道確保や景観の観点から、現行の支援制度における地域指定の制限をなくし、全地域の雁木を整備できるよう見直すべきではないか。さらに、雁木が連たんしていない箇所への雁木の設置などに対して支援する考えを聞きたい。</p>
30 番 こ ん ど う 彰 治	<p>2. 金谷地区公民館整備について</p> <p>(1) 幾度となく金谷地区公民館整備について聞いているが、令和2年度中に方向性を出したいと答弁されている。現在までに検討された方向性と今後のスケジュールについて聞きたい。また、施設の位置として寺町駐車場の活用や建設規模としては南三世代交流プラザのような施設は考えられないか。</p> <p>3. 南葉高原キャンプ場について</p> <p>(1) 南葉山荘が落雷により焼失してから2年、将来的に見ても同様な施設が必要と思うが考えを聞きたい。</p>

順位	
議席氏名	質 問 事 項
6	<p>1. 「過疎集落」と「限界集落」について</p> <p>(1) 当市における「過疎集落」及び「限界集落」の現状はどうか。集落の維持、活性化に向けた対策と今後の見通しについて聞きたい。</p> <p>2. 自主防災組織の活動について</p> <p>(1) 自主防災組織に期待されるのは、地震、火災、風雨等による災害に対する初期活動や被災者支援、当局への通報などであるが、豪雪災害が含まれていない。今回の豪雪災害を教訓に、自主防災組織に期待することを体系的に整備すべきと考えるが、どうか。</p> <p>3. 北陸新幹線沿線各市との交流促進について</p> <p>(1) 一昨年、石川県立加賀聖城高校の生徒が取り組んだ「参勤交代うおーく」に対する上越市民の支援を契機として始まった市民交流がいまだに続いていて心の交流に発展している。北陸新幹線敦賀延伸の遅れという残念な要素はあるものの、この機をチャンスと捉えて、沿線各市との交流を一層促進すべきと考えるが、どうか。</p> <p>4. 児童虐待の対応について</p> <p>(1) 当市における児童虐待の実態と関係機関との連携はどうか。また、関係機関に配布した児童虐待防止ハンドブックの活用状況について聞きたい。</p>
順位	
議席氏名	質 問 事 項
7	<p>1. 東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン活動について</p> <p>(1) 東京オリンピック・パラリンピックが新型コロナウイルス感染症の影響で延期になったが、いよいよ今年開催される予定である。ドイツのホストタウンとして、合宿受入時における新型コロナウイルス感染症対策を、どのように準備しているか、その取組状況を聞きたい。</p> <p>(2) ホストタウン活動を行っている自治体は多いが、例えば種目が違って、同じドイツのホストタウン活動に取り組んできた自治体と連携し、上越市内の子どもたちとのスポーツ・文化交流を積極的に進めていく考えはないか。</p>
18番 石田裕一	

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
8	<p>1. 大雪に関する対応状況と今後の対策について</p> <p>(1) 令和3年1月、上越市内において記録的大雪となり、市による市道除雪にも限界があると感じた。地域が行う共助による除雪体制の整備を促進する考えはないか。</p> <p>(2) 市民から多くの苦情や問合せがあったとのことだが、これらを町内会とともに検証すべきと考えるが、どうか。</p>
2 番 小 山 よ う こ	<p>2. 安心して妊娠・出産・子育てができる上越市にするための施策について</p> <p>(1) 妊娠・出産・子育てに関して悩みを抱える多くの女性が気軽に相談できる体制の充実を図る必要があると考えるがどうか。</p> <p>(2) 出産後、家族等から支援を受けられない場合や育児に不安がある方を対象に、宿泊型やデイサービス型の産後ケア事業を実施すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、乳児へのおむつの支給や、育児用品のレンタル費用の助成を行うべきと考えるがどうか。</p> <p>3. インクルーシブ遊具の設置について</p> <p>(1) 車いすの利用や体の力が弱い等の理由で、一般の公園遊具で遊ぶことが困難な子どもにも配慮したインクルーシブ遊具を今ある公園に設置することはできないか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
9	<p>1. コロナ禍での市税の徴収猶予について</p> <p>(1) 徴収猶予の特例の状況と、今後の対応について聞きたい。</p>
6 番 宮 崎 朋 子	<p>2. 大雪災害で浮き彫りになった課題と今後の方針について</p> <p>(1) 市内の農業用施設及び農作物や、果樹生産事業者(ぶどう、くり)の被害状況と支援策について聞きたい。</p> <p>(2) 災害時において、市民への情報発信の手法について、どのように検討し、取り組んでいるか。</p> <p>(3) 高齢者の中には情報弱者も多い。特にデジタル機器を持っている方が、確実に防災情報を受け取ることが必要と考える。それに対しては、どのように取り組んでいるか。</p> <p>3. 上越市シニアパスポートの在り方について</p> <p>(1) 上越市シニアパスポート事業の取組と利用状況はどうか。</p> <p>(2) 高齢者の生活スタイルの変化により、新たな内容拡充を期待するが、市の方針はどうか。</p> <p>4. 地域おこし協力隊制度について</p> <p>(1) 地域おこし協力隊のこれまでの活動状況と課題について聞きたい。また、隊員同士の地域間交流及び都市と地方の橋渡しとしての活動も期待するが、市の考えを聞きたい。</p> <p>5. 今年度の重点施策である鳥獣被害対策について</p> <p>(1) 鳥獣被害対策の抜本的な解決には、山林と里山を分ける必要があると考える。鳥獣が出没しにくい環境づくりを今後どう進めていくか。また、それに関わる私有林の管理の課題をどのように認識しているか聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席氏名	
10	1. 今冬の豪雪について
5番 高橋浩輔	<p>(1) 令和3年1月7日から降り始めた雪は、その降り方や積雪量において極めて稀な記録的豪雪となった。これからも同様の状況が起こりうることが予想される。次への「備え」という視点で以下のことを聞きたい。</p> <p>ア 高田地区で9年ぶりに行われた一斉雪下ろしについて次のことを聞きたい。</p> <p>(ア) 実施日が23日、24日に設定されたが、その前の週の16日、17日に設定されなかった理由について聞きたい。</p> <p>(イ) 社会状況の変化に伴い、一斉雪下ろしの実施方法も変化を求められていると考えるがどうか。例えば、道路交通の確保、雪下ろし人材の確保のため、ブロック分けをして実施日を分散させるのはどうか。</p> <p>イ 豪雪から地域の安全と暮らしを守るために町内会などの地域防災力を高めるための支援や働きかけをどのように行ってきたか。また、この度の記録的豪雪を踏まえ、町内会単位での除雪機の購入等に対する支援を拡充するなど今後新たに取り組むべきことがあれば聞きたい。</p> <p>ウ 豪雪の期間中、市民への雪に関する「情報」はどのように整理され発信されてきたか。また、この度の豪雪で見えてきた課題や、災害時において「必要な情報を」「必要としている人に」「確実に伝える」ための今後の方策を聞きたい。</p> <p>エ この度の豪雪においても、雪下ろしや除雪作業中の事故が発生している。事故防止のために、これまでに取り組んできたことや今後新たに取組が必要なことがあれば聞きたい。また、命綱を取り付けるためのアンカー設置費用を助成することができないか聞きたい。</p> <p>オ この度の豪雪では、自衛隊の災害派遣により、福祉施設11棟の除雪作業が行われた。この支援内容はどのような考え方で決められ、実行されたのか聞きたい。</p>

順位	
議席氏名	質問事項
11	
8 番 中 土 井 か お る	<p>1. 健康増進について</p> <p>(1) 市は健康増進計画改定版において、生活習慣病の発症予防及び重症化予防の徹底を重点対策に掲げ、積極的な取組により成果を上げているが、健康寿命の延伸と健康格差の縮小の更なる推進のため、個々の健康状態や健診結果に基づいた個別運動プログラムの提供と実施が必要と考えるがどうか。</p> <p>(2) 国民の約3割がスギ花粉症に罹患し、社会的・経済的に大きな影響が出ているといわれている。市民の憩いの場である高田城址公園にも多くの杉が植栽されており、アレルギー疾患の発症や重症化が懸念される。高田城址公園の杉の樹木の管理を具体的にどのように考えているか。</p> <p>2. フリースクール利用者への支援について</p> <p>(1) 文部科学省は令和元年に、不登校児童生徒への支援の在り方について通知し、「自宅においてICT等を活用した学習活動を行った場合の指導要録上の出席扱い」が可能になった。これを受け本市における現状や対応について聞きたい。</p> <p>(2) 本市には「上越市フリースクール等利用支援補助金」制度があるが、補助対象外の方の費用負担が大きい。復学を目指しやすい環境整備が必要と考えるが、支援補助金制度を拡充する考えはないか。</p> <p>3. 屋根雪下ろし中の転落事故防止策について</p> <p>(1) 今冬、屋根雪下ろし中の転落事故が相次ぎ、事故防止のための命綱の必要性が一層高まった。命綱固定のためのアンカー設置を助成する考えはないか。</p>

順位	質 問 事 項
議席氏名	
12	<p>1. 外国人市民への支援について</p> <p>(1) 上越市では様々な企業が外国人労働者を雇い入れ、昨年度は外国人市民が急増した。言語(会話)はもちろん、生活に関わる全てのことにおいて、上越市ではJOIN(公益社団法人上越国際交流協会)との連携をもって外国人への支援を行っている。今後を見据え、その支援体制には更なる拡充が必要であると考えますが市の見解を聞きたい。</p> <p>(2) 今年初めの豪雪被害をはじめ、防災や危機管理上で、情報伝達を含め避難訓練や指導など、適切な避難行動に結びつく支援が必要であると考えが見解を聞きたい。</p> <p>(3) 市内在住の外国人・帰国児童生徒の子どもたちに対する教育について、どのような支援が行われているのか聞きたい。</p>
4 番 ス ト ラ ッ ト ン 恵 美 子	<p>2. 不登校支援の充実について</p> <p>(1) 上越市における不登校支援は、条件付きであるがフリースクール等利用支援補助金といった財政支援、いじめや不登校など教育に関する問題の相談支援、適応指導教室、やすづか学園をはじめとするフリースクールなど、学校に行けない子どもたちの居場所も増え、学校に行けない子どもたちに対する理解とその支援の充実が数年前よりもはるかに図られていると認識する。近年、オンライン教育も可能であることも示される中、家から出られない子どもたちにとって、民間の塾などで行われているオンライン教育も有効であると考え。この場合、学校として出席扱いや成績評価として取り扱ってくれるのか聞きたい。</p> <p>3. コロナ禍における結婚披露宴への支援について</p> <p>(1) 長期化するコロナ禍で、本来、家族を作ろうと人生の節目である大切な日を迎えたいカップルが、ウェディングの延期や中止を余儀なくされている。日本ブライダル文化振興協会によると、昨年、感染症拡大により延期や中止を余儀なくされた結婚式は、24万組に上り、1年間に式を挙げるカップルのおよそ80%に影響があったと報告している。新しい生活様式を用いながら、上越市が少しでも彼らの晴れの門出を祝えるよう、市内で行う結婚披露宴等に対してその費用を補助する「Go To Wedding」施策で後押しをしてはどうか。結果、ブライダル関連事業の需要回復につながり、上越市内での明るい笑顔も増えると考えますが、市の考えを聞きたい。</p> <p>4. 上越市立水族館博物館「うみがたり」について</p> <p>(1) 先般、文教経済常任委員会において、鯨類飼育環境の検証について所管事務調査が行われ、検証結果が報告されたところである。まさに、水族博物館「うみがたり」を盛り上げるために、指定管理者とも、今後、深く話し合われるところであると認識する。ここで改めて「水族博物館」の新たな展開を検討すべきではないか。海洋生物について学ぶ博物館としての機能だけでなく、海全般について学べ、体験できる、新しい水族館の取組を検討してはどうか。</p>

順位	
議席氏名	質問事項
13	1. 立地適正化計画の誘導重点区域(中心市街地)への若年層等の定住・回帰策について
13番丸山章	<p>(1) 誘導重点区域(中心市街地)の賑わい等の創出のため、今日まで様々な政策・施策を実施してきたが改善されなかった。車社会の進展に伴う影響はあったものの、大きな要因として、誘導重点区域(中心市街地)の生活環境の構築に向けたまちの行き先を示す羅針盤が無かったことが、市民の夢・期待・希望を削ぎ、若年層等は新たな生活環境の場を郊外等に求めていった。その結果、人口減少は顕著になり、活力の低下、人の往来や賑わいの喪失へと繋がっていった。今までの政策・施策は適切であったのか、現状分析を踏まえ、抱える問題点から課題を明確にし、誘導重点区域(中心市街地)へと定住・回帰を創出する策が重要である。市民との話し合いを通じながら行政としてどのような手段の構築を考えているのか、聞きたい。</p> <p>(2) 誘導重点区域(中心市街地)の再生には、若年層等の定住・回帰が必要不可欠であることから、次のとおり定住・回帰策を提案するがいかがか。</p> <p>〔提案趣旨〕</p> <p>誘導重点区域(中心市街地)を元気にする大きな要素として、若年層等の増加策はとても重要である。費用対効果を最大限得られることを意識しながら町家を活かしたまちづくりや新たな子育て支援策を設計し、誘導重点区域(中心市街地)への若年層等の定住・回帰を促すこととする。</p> <p>〔前提〕</p> <p>①観光資源としての魅力と歴史的・文化的価値を有する町家の特徴を守る。 ②まちの将来の姿に対する市民の合意形成を図る。</p> <p>〔狙う事業効果(アからウまで)〕</p> <p>①人口減少の抑制、まちの賑わい創出・イメージの一新、インバウンドの増加、市民の自信と誇りの醸成等 ②市民と歴史文化を大切にしたい個性あるまちづくり、魅力に富んだ誘導重点区域(中心市街地)に仕立てつつ、当市が抱える課題・施策への相乗・波及効果もにらむ。</p> <p>ア 提案1 (仮称)「町家・雁木保全条例」を制定し、新たに町家のリノベーション等に対する補助制度を創設する考えはないか。</p> <p>イ 提案2 歴史的・文化的価値を有する町家を活用して、特徴ある新たな街並みを形成していく考えはないか。</p> <p>区域の姿のキャッチコピーは、「ほっと一息つける・心が和むまち」「ふと振り向いてしまう・心地よい生活空間」とする。</p> <p>①ア及びイの共通事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町家のリノベーション等については、外観と屋内の主要構造を維持する。 ただし、居住環境を整えるため、家屋、商店・宿泊・活動施設等に対応で

令和3年第1回(3月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

きるよう、面的改修も推進する。

- ・鉄筋・鉄骨コンクリート造りの建物外観を、風情ある町家造りに衣替えし、他地域では味わえない個性ある街並みに整えていく。
- ・空き町家の所有者が有効活用しない場合、行政が不在所有者と調整を図りながら民間企業・団体とタイアップし「ほっと一息つける・心が和むまち」「ふと振り向いてしまう・心地よい生活空間」づくりへ導いていく。

②「ほっと一息つける・心が和むまち」づくり

町家の住環境の質を高めることを基本に、町家カフェ等のお店で、食事やお茶、買い物、よもやま話など、安らぎと暮らしやすさ、歴史文化の味わいを肌で感じられる環境へ導いていく。

③「ふと振り向いてしまう・心地よい生活空間」づくり

芸術家（絵画・音楽・陶芸等）の卵、大学生等が居住・活動・飛躍できる環境を整える。そして、訪れる人たちが「ほんもの」の魅力、奏でる音楽や芸術文化等に親しめるとともに、気楽に立ち寄れるスポットへ導いていく。

ウ 提案3（仮称）「ママ・パパ子育て応援ハウス」（以下「応援ハウス」という。）を設立する考えはないか。

- ①高田区・直江津区の誘導重点区域内又はその付近に1か所ずつ設置する。
- ②既存のファミリーサポートセンター、ファミリーヘルプ保育園、合併前上越市の子育て世代包括支援センターを一体にし、共働き世帯等の負担軽減を図る観点から、時間の融通を可能にすることや利用時間の拡大、親の要望・希望を極力かなえる等、利便性を向上させる施設とする。
- ③生後8週間から就学前までの乳幼児を保護者が通勤時に「応援ハウス」に預けた際、以後の保育や各保育園への送迎は全て「応援ハウス」で対応する。
- ④「応援ハウス」は、空き町家をリノベーションして活用する。
※子育てに関して、ワンストップサービスを可能にする施設とする。

[アからウまでの財源]

「市の補助」、「市民・企業からの寄付、国・県・市の資金拠出によるファンドの立上げ」、「地方創生推進交付金」、「社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業、空き家再生等推進事業）」等の財源を活用する。さらに、ふるさと納税、企業版ふるさと納税を積極的に活用し財源確保を図る。

順位	
議席氏名	質 問 事 項
14	<p>1. 今冬の豪雪災害に関する諸問題について</p>
29番 上野公悦	<p>(1) 豪雪から暮らしと安全を守る対応について以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 除雪状況などの情報不足により、不安と不便を感じた市民が多かったと感じる。豪雪対策として市民に対する情報の発出は必須と考えるがどうか。</p> <p>イ 生活道路と歩道の除排雪は、暮らしと命を守る観点から緊急性が求められるが、どうだったのか。きめ細かな検証と除排雪実施手順の見直しを行うべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ 町内会等がやむを得ず行った自主的除排雪に対し、費用補助も含めた制度創設や支援を行うべきと考えるがどうか。</p> <p>エ 記録的な豪雪災害という状況下で、自衛隊の支援を受けたが、支援活動は短期間で、一部の範囲にとどまったと認識している。もっと広く支援を必要としている福祉施設などでの支援活動も必要だったのではないかと聞きたい。</p> <p>(2) 海岸部の保安林被害と倒木等の処理への対応について以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 保安林の倒木等の被害が甚大である。その状況を市ではどう把握しているか。</p> <p>イ 保安林の立地がある町内会などから倒木の処理などについての支援要望は聞いていると思うが、市としてどのように対応しているか。</p> <p>ウ 保安林の倒木等の処理に対する支援について、災害等廃棄物処理事業を活用できないか。</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症患者の連続大量発生と新たな対応について</p> <p>(1) 今回の事態は非常に憂慮すべき事態と考える。市民へのより一層強力な注意喚起のメッセージを発出すべきではないか。</p> <p>(2) ワクチン接種と思い切った検査の拡大という両面をしっかりと行ってこそ感染拡大が防げると考える。感染防止戦略を再構築すべきではないか。</p> <p>(3) 当市で初めて小中学生の感染者が出た。更なる感染を防止し、学びと健康を守るために今後とるべき学校や授業等の運営課題をどう整理するのか。</p>
順位	
議席氏名	質 問 事 項
15	<p>1. 市道の除草について</p>
14番 本山正人	<p>(1) 市道の維持管理の一環として、道路脇や歩道脇の除草は欠かせない。現在、上越市では薬剤散布による除草は禁止されており、町内会の協力をいただきながら草刈りを実施しているが、高齢化に伴う人員不足により、作業が困難な状況にある。薬剤散布と草刈りを併用した除草を行う考えはないか聞きたい。</p> <p>(2) 業者への委託による除草作業においても、人員不足や大型草刈機の不足により、作業の遅れや良好な道路維持管理に支障を来している。スムーズに除草作業が実施できるよう、地元業者への草刈機の貸出制度を創設する考えはないか聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
16	<p>1. 旧古城保育園の土地売払いについて</p> <p>(1) 旧古城保育園の土地は港町地区の中心一等地である。人口増、活性化に資する等の条件を付した売払いとすることはできないか。</p>
27 番 江 口 修 一	<p>2. 古城小学校統合後の校舎の活用について</p> <p>(1) 古城小学校は直江津の中心市街地に近く、直江津港の玄関口でもあり、大手企業を取り巻く環境にある。この好立地の中にある校舎は耐震工事及び外装整備等が終わっており、活用については多くの方法が考えられると思うが、地元のみならず県内外及び関東方面からの企業誘致などは考えられないか。</p> <p>3. 上越市立水族博物館、鯨類飼育個体の連続死の検証結果について</p> <p>(1) 鯨類死亡の責任は上越市にあるとし、設計・施工・飼育の責任は追及しないという意図は何か。</p> <p>(2) 市は開館当初の6頭体制へ戻すとしている。風よけ、日よけ等の設置後、開館当初のバンドウイルカ4頭、シロイルカ2頭の以前のようなパフォーマンスは今後も続けられるのか。</p> <p>(3) 亡くなったイルカは八景島のどのプールで生活し、どのようにパフォーマンスを行っていたのか。</p> <p>(4) 以前いた八景島と比べて「うみがたり」のプールの環境(表面積)について問題はないのか。</p>

順位		
議席氏名	質 問 事 項	
17		
7 番 高 山 ゆ う 子	<p>1. 大雪に伴う高田城址公園における桜の被害状況と今後の対応について</p> <p>(1) 今年の大雪で、市の最大観光資源である高田城址公園の桜の枝が折れ、被害が広範囲で出ている。100年後も桜の名所であり続けるため、市として今後どのように手当てをしていくのか。</p> <p>2. 高田駅前のトイレ整備について</p> <p>(1) 高田の顔である高田駅前の交番横のトイレが汚いという声がある。また、トイレ前の通路が薄暗く、男女のトイレ出入口が隣接しているが、つい立てもない。さらに、付近の有線電話スペースも雑然としており汚い。現在の清掃状況と今後の対応について聞きたい。</p> <p>3. コロナ禍における避難所設営と防災士の活用について</p> <p>(1) あらゆる災害に対応できる避難所設営が必須と考えるが、市としてコロナ感染症対策に伴う取組がどのようになされ、どこまで進んだのか聞きたい。</p> <p>(2) 避難所の器材等の整備拡充にあわせて人手が必要になると思われる。行政による避難所設営のほかに、地域の防災力強化に向けて防災士を有効活用すべきと考えるが、市としてどのように取り組んでいくのか。</p>	
順位		
議席氏名	質 問 事 項	
18		
17 番 田 中 聡	<p>1. 上越市の公園について</p> <p>(1) 市内の公園は、その目的と用途が分かれており、市の担当所管別に管理をしているが、全体を包括した施設の配置についての考え方を持っているか聞きたい。</p> <p>(2) 当市の公園について、現状の利用実態や特色ごとに「公園の区分」を再編し、検証の上で機能向上を図っていく考えはないか。</p>	

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
19	1. 今冬の除雪対策・対応について
24 番 渡 邊 隆	<p>(1) 豪雪災害に見舞われた状況下であったが、雪対策についてそれぞれに課題、検証すべき点があったと思われる。現時点で総括できることはどのようなことか聞きたい。</p> <p>(2) 幹線道路の緊急車両通行に際し、除排雪作業を優先させることに理解はしている。一方で歩道が開かず、通勤、通学、生活者の車道上の往来で除排雪作業車両と混在した。歩道確保を優先すべきではなかったかと考えるが、考え方の基準を聞きたい。</p> <p>(3) 生活道路(狭隘道路)の除雪、雪のやり場に苦慮した住宅地も多かったと考える。毎年、除雪前に除雪会議で協力していただける空き地等を選定して確保するが、空き家対策も兼ね、家主の考えを聞いた上、公で長期空き家の家屋を解体し公有財産にしたり、引き合いがあれば売買したりするなど、排雪空き地を確保しながら狭隘道路の住宅地を整理していくなどの考えが必要でないかと考えるがどうか。</p> <p>(4) 幹線道路の除排雪作業が進むにつれて経済、市民生活にも動きが出てくる中、幹線道路の排雪(雪捨て場)が込み合い、商業施設の排雪が効率良く回らない現状もあったと聞く。経済の循環も一方では考え、安全対策を講じ夜間の雪捨て場の対応も必要ではなかったかと考えるが、見解を聞きたい。</p> <p>(5) 毎年、雪下ろし作業で落下事故が起きる。若い世代は新興住宅地の土地の広い宅地を求め自然落雪の屋根の住宅をと考える。一方、既存住宅では高齢化が進み、雪下ろし作業も苦慮し危険な状況にある。除雪時期には、市の広報などで命綱を付けて作業するよう促しているが、雪国で現実的な転落防止策となっているのか、見解を聞きたい。</p>

順位	
議席氏名	質 問 事 項
20	<p>1. 柏崎刈羽原子力発電所について</p> <p>(1) 上越市は柏崎刈羽原子力発電所の隣接自治体である。以下の5点について聞きたい。</p> <p>ア IDカード不正使用による中央制御室への不正入室、7号機の安全対策工事未完了問題を市としてどう見ているか。</p> <p>イ ここ数か月、新潟県の検証委員会メンバーの入れ替え、経済産業省資源エネルギー庁幹部の頻繁な新潟県訪問等が再稼働に向けた動きに見える。市としてどう見ているか。</p> <p>ウ 花角新潟県知事は、3年前の知事選で「米山前知事が進めていた3つの検証を引き継ぎ、徹底的に検証を行います」「その検証結果が示されない限り、原発再稼働の議論を始めることはできません」「検証を踏まえ、関係市町村、関係機関などと、実効性のある避難計画の検討を行います」「検証結果は広く県民の皆さんと情報共有するとともに、県民の皆さんの評価をいただき、納得いただけるか見極めます。その上で、結論を得て県民の信を問うことを考えます」など5項目を公約された。私はこの公約を貫いてほしいと願っているが市長はどう考えるか。</p> <p>エ 原子力災害における避難計画づくりに新たな課題が浮上する中で、再稼働はすべきでないと考える。市長はどう考えるか。</p> <p>オ 東京電力との安全協定は法的拘束力のあるものにすべきと考えるがどうか。</p>
31 番 橋 爪 法 一	<p>2. 今冬の豪雪といくつかの課題について</p> <p>(1) 災害救助法の適用において、特に障害物の除去については、自らの労力で対応できない世帯を全て救助すべきと思うが、市長の基本的認識を聞きたい。</p> <p>(2) 今冬の豪雪は市内全域に被害をもたらし、広域で生活道路が使えなくなる事態が長時間続いた。このことを二度と繰り返さないため、専門的な知見も入れてのしっかりした検証をすべきではないか。</p> <p>(3) 民家の除排雪と道路除雪はいずれもマンパワーの確保で困難に直面した。自衛隊や他自治体などからの支援についても検討すべきではないか。</p> <p>(4) 今冬の豪雪を踏まえ、13区の総合事務所産業建設グループの集約について検証すべきと考えるが、市長の見解はどうか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
21	<p>1. 職員配置や人材育成等の取組について</p>
11 番 山 田 忠 晴	<p>(1) 当市は、合併により広大となった面積を限られた職員数で運営しているが、職員数は年々減少傾向にある。職員配置は現在どのような考えで行われ、今後、職員数がどう変化していくのか聞きたい。</p> <p>(2) 会計年度任用職員の現在の人数及び今後の推移について聞きたい。また、正規職員の年代構成と男女比率、女性職員の積極的な登用についての考えを聞きたい。</p> <p>(3) ICTを活用したりリモート勤務の導入や新しい生活様式を取り入れることにより、各部署の分散勤務や職員配置の見直しを検討する考えはないか。</p> <p>(4) 上越市人材育成方針について、現在の取組や方針策定以降の職員の変化、課題、市民から寄せられた声、今後の方針の改定計画等を聞きたい。</p> <p>(5) 職員の地域での活動について、町内会や市民団体、PTA、消防団等の事例があると思われる。職員の地域での活動が市の施策に結びついた例があるか聞きたい。</p> <p>(6) 国や県、各種法人、団体等との職員の派遣交流が行われているが、その実態を聞きたい。</p> <p>(7) 県では、若手職員の政策提案を積極的に取り入れている。当市においても若手職員の政策提案を聞く取組はあるか聞きたい。</p>

順位	
議席氏名	質 問 事 項
22	<p>1. 自治基本条例の再確認について</p> <p>(1) 上越市自治基本条例は当市の最高規範と位置づけられ、平成20年(2008年)4月に制定された。議会もそれを基に議会基本条例を制定し、現在3回目の検証を行っている。自治基本条例もすでに2回の見直しを実施しており、その際に関係部署から取組状況を報告してもらっていると思うが、その後の状況も含め、順調に推移していると考えているか。</p> <p>(2) 自治の基本原則は、「情報共有」「市民参画」「協働」「多様性の尊重」としている。行政の行動原則としては理解できるが、市民主体の「市民参画」や「協働」が進んでいないのではないか。</p> <p>(3) 第23条で「オンブズパーソンの設置」が定められている。存続されることになったが、自治基本条例をどう解釈しているのか。また、事務事業評価の検討経過について聞きたい。</p>
25 番 栗 田 英 明	<p>2. 地域自治区制度・地域協議会について</p> <p>(1) 上越市が目指す住民自治のあるべき姿を説明してほしい。</p> <p>(2) 市民の身近な地域課題の解決や輝く地域を住民自ら創れるように地域自治区制度を全市域に導入した。地域自治区制度の導入の成果をどう分析しているか。</p> <p>(3) 地域自治区制度の導入に伴い、地域協議会とその事務局を設置している。それぞれの役割を十分に果たしていると考えるか。</p> <p>(4) 昨年4月に委員改選があり、新たな地域協議会がスタートしている。募集時に地域協議会への市民理解を得ること、スタート時に研修を十分に行うこと、いきなり地域活動支援事業の採択関連から始めないことを本会議や委員会で申し入れたが、実施できなかったのはなぜか。</p> <p>(5) 地域活動支援事業が始まって10年が経過した。一定の成果があったと考えるが、これまでの総括をした上で、新たな展開を考える時期ではないか。</p>

順位	
議席氏名	質問事項
23	<p>1. 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 介護サービス事業所のスタッフに陽性者が発生した場合に、介護体制を維持できるようにする手立てはどのように考えているのか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う受診控えにより各医療機関への支援が必要になっている。その支援策はどうなっているか。また、今後どうする考えか。</p> <p>(3) 今般の感染者急増は飲食店が中心であったが、感染拡大防止対策は飲食店にとっても必要である。各飲食店にはどのように対応しているか。</p> <p>(4) 次のことについて、政府に求めるべきと考えるがどうか。</p> <p>ア 地方創生臨時交付金による継続的支援</p> <p>イ 飲食業への十分な補償、関連・類似事業者への支援</p> <p>ウ 持続化給付金及び家賃支援給付金の第2弾の実施</p> <p>エ 雇用調整助成金(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例)、休業支援金の感染収束までの継続</p> <p>オ 宿泊・観光業への直接支援制度の創設</p>
20番 平良木哲也	<p>2. 「第4次上越市公の施設の適正配置計画」について</p> <p>(1) この計画は、「市民の皆さんに対して、つまびらかな情報公開と説明責任を果たすとともに、合意形成を図りながら、信頼と理解、協力を得て着実に進めていきます」としているが、多くの市民から「結局は行政主導で廃止等を行うことになるのではないか」「既に説明を尽くしたとしているのではないかなど、懸念の声が寄せられている。今回の計画の策定過程で行った各地域等での市民への説明をどう評価しているか。</p> <p>(2) 計画実行の際には、見直しや方向転換を選択肢に入れ、市民との合意形成を図ることを前提に進めるべきであるが、実際はどう進めていくのか。また、個々の施設についてより詳細な実施計画を示す考えはあるのか。</p> <p>3. 歩道の改良について</p> <p>(1) 市内、特に合併前上越市では、車道との間の段差や起伏があつたり、斜面になっていたり、極端に幅員が狭くなっていたりと、極めて歩きにくい歩道が多数存在する。また、歩道がこのような状態になっていることは、市が行うものと市民が自発的に行うもの双方を含め、冬期の除雪が行き届かない原因にもなっている。「道路整備計画」では、『安全・安心』のための防災機能の向上を目指す路線や「子供や高齢者などに配慮した交通安全機能の向上を目指す路線」を「推進路線」として位置づけているが、その中核をなす市街地の歩道は、必要な機能を果たせる状態にないと言わざるを得ない。こうした現状をどのように把握し、どう認識しているか。</p> <p>(2) 「道路整備計画」には、「歩道改良」を優先的に整備することが明確に言及されていない。現状を踏まえ、「歩道改良」を重要課題と位置づけ、計画的に整備を進めるべきではないか。</p>

順位	
議席氏名	質問事項
24	1. 直江津地区のまちづくりについて
1 番 安 田 佳 世	<p>(1) 小木直江津航路の活性化について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 令和3年度当初予算には佐渡汽船への財政支援を計上していないが、今後、どのように財政支援を検討していくのか。</p> <p>イ あかね購入に際して上越市が支出した補助金の返還について、どのように考えているのか。</p> <p>ウ 小木直江津航路の利用者を増やしていくためには、新潟県・佐渡市・佐渡汽船などと連携しながら上越市が積極的に取り組んでいく必要があると考える。小木直江津航路の活性化に向けて、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>(2) 水族博物館うみがたりについて、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 水族博物館における鯨類死亡に関する検証結果報告書が提出された。17項目の提言がされているが、水族博物館の運営や改修工事にどのようにいかしていくのか。</p> <p>イ 新型コロナウイルス感染症や鯨類死亡による影響を受け、来館者が大きく減少している。来館者数を増加させるためには、より地域住民や観光客が心惹かれるような取組を実施していく必要があると考える。水族博物館うみがたりの来館者増加に向けて、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>(3) (仮称)直江津アートプロジェクト事業について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 直江津地区の様々な場所を使い、様々な地域や年代の人々が関わる事業であり、直江津地区の活性化が期待できると考えている。上越市としては、本事業の目標や目指すべき姿をどのように考えているか。また、本事業による効果をどのように考えているか。</p> <p>イ 本事業が実行委員会としての運営形態をとり、そこに対して交付金を支払うことにした理由は何か。また、上越市は実行委員会に対してどのように関わっていくのか。</p> <p>ウ 「越後妻有アートトリエンナーレ・大地の芸術祭」や十日町市との連携をどのように行っていくのか。</p> <p>エ 本事業によるまちの活性化や交流人口の拡大が、イベント時の一過性のものではなく継続されていくための取組が必要だと考えるが、どうか。</p> <p>(4) 直江津地区には、施設や建物、歴史、人などの魅力ある要素がたくさんある。それらをつなげて、地域が一体感をもったまちづくりをしていくことが必要だと考えるが、どうか。また、その実現のために、上越市としてどのように取り組んでいくのか。</p>

令和3年第1回(3月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

順位	
議席氏名	質 問 事 項
25	<p>1. 今冬の豪雪について</p> <p>(1) 今回の豪雪では、枝線までの除雪に一週間ほどかかったものと思われる。その間、救急車両が通行できない状況で、市民は不安な日々を過ごした。このような中、消火栓についても同様であるが、地下式消火栓を地上式消火栓に変えていく考えはないか。</p> <p>(2) 情報が全く届かないという声も多く聞かれた。ホームページや安全メール、SNSなど様々な情報ツールが用意されているが、高齢者にはなかなかなじめないとの意見も多い。高齢者には、防災ラジオやJCVに譲渡されることとなったFM-Jが重要かつ有効である。これらを更に活用していく考えはないか。</p> <p>2. 上越市スマート農業プロジェクト実証事業について</p> <p>(1) 大区画ほ場に、各作業にスマート農業機械(技術)を導入することによって、省力化を図りながらも安定した収量・品質の確保の両立を目指すものとしたこの事業について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 当初の目標は達成できたか、その成果について聞きたい。</p> <p>イ 普及させていく上での課題は何か。また、今後どのように展開していくのか。</p> <p>ウ 中山間地では環境・条件が異なるが、スマート化はどのようなものが考えられるか。</p>
順位	
議席氏名	質 問 事 項
26	<p>1. ストップ人口減少の決め手となる取組について</p> <p>(1) ストップ人口減少の決め手は、「子供年金」制度の導入にあると考えるが、その実現への取組と子どもを産み育てやすい環境を整えるため、次の視点で直ちに取組む必要があると考えるが所見を聞きたい。</p> <p>ア 「子供年金」導入に向けてのニーズ調査を実施する。</p> <p>イ 「子育て特区」や「モデル都市」としての認定等を受け、財政負担の軽減措置を図り実行する。</p> <p>ウ 子どもを産み育てやすい環境整備の一環として、上越地域医療センター病院内に周産期対応の「子ども病院」を新設する。</p> <p>2. 新幹線駅周辺のまちづくりについて</p> <p>(1) 新幹線駅周辺のまちづくりの本格化について次の観点から所見を聞きたい。</p> <p>ア 新幹線駅東口(北側)から南高田間に都市計画道路を新設し、高田市街地と一体化を図る。</p> <p>イ 新幹線駅東口にテレワーク・デジタルオフィスビルを建設し、関東圏からの企業誘致を図る。</p> <p>ウ 「かがやき号」の停車及び「あさま号」の始発に加え、東京駅への直通運転</p>
9番 宮越馨	

令和3年第1回(3月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

の実現に取り組む。

エ ほ場整備事業和田北部地区において、デジタル優良田園住宅(デジタル・アーバンビレッジ)の整備を推進する。

オ ホワイトバレー構想の実現化へアピール(イメージ=スモール筑波研究学園都市)する。

3. 新しい自治体のガバナンスの在り方について

(1) 新しい自治体のガバナンスの在り方として、郵便局及びJAとのコラボレーションによる行政コストの効率化と行政サービスの向上を図ることが有効と考えるが、所見を聞きたい。

4. 地球環境政策について

(1) 世界的な地球温暖化対策を進めるこのタイミングに、地球環境特別会計廃止は不都合であると思うが、その真意と今後取り組む地球環境政策について聞きたい。

5. 高田城址公園について

(1) 名称変更された高田城址公園にふさわしい高田城址公園の在り方の一環として、復元された「極楽橋」に接する枳形門の復元は、上越市の観光資源のグレードアップ、観光戦略として欠かせないと思うが所見を聞きたい。